

「第31回日米草の根交流サミット 2024 和歌山大会」開催

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による3年の延期を経て、「日米草の根交流サミット 2024 和歌山大会」を令和6年7月10日（水）～7月14日（日）に開催
- 米国から一般参加者 約100名が参加予定
- 米国人参加者は県内8地域に分かれ、各地域でのホームステイ（3泊4日）や「地域分科会」を通じて、地域の人達と草の根レベルの交流を行います。

1 開催概要（予定）

・オープニング式典・レセプション

開催日：令和6年7月10日（水）

会場：和歌山県民文化会館 小ホール（式典）、和歌山市内ホテル（レセプション）

参加者：米国人参加者約100人、来賓・一般約150人

・地域分科会

開催日：令和6年7月11日（木）～7月14日（日）

会場：県内8地域

内容：3泊4日のホームステイ、観光施設訪問、各種体験

・クロージング式典・フェアウェルパーティー

開催日：令和6年7月14日（日）

会場：和歌山市内ホテル

参加者：米国人参加者約100人、ホストファミリー約100人
来賓・一般約150人

2 日米草の根交流サミットについて

- ・（公財）ジョン万次郎ホイトフィールド記念国際草の根交流センターが毎年日本とアメリカで交互に開催している約一週間の交流イベント。令和元年に第29回兵庫・姫路大会、コロナ禍を経て令和5年9月に第30回オハイオ大会が開催された。
- ・大会のメインイベントとなる「地域分科会」では、県内8地域に分かれ3泊4日のホームステイを通して、各地域に特化した個性あふれるプログラムで交流を実施。

※8地域：和歌山市、橋本市、田辺市、新宮市、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町

※（公財）ジョン万次郎ホイトフィールド記念国際草の根交流センターとは：

海で遭難したジョン万次郎を救助し、米国で教育の機会を与えたホイトフィールド船長、また彼ら子孫の175年の友情を原点に、日米の市民が相互理解と親交を深め、友情を育む「日米草の根交流サミット大会」を32年間続けている。